

終戦からちょうど一年後の1946年8月15日、中原淳一（1913–1983）は自身が編集長を務める『それいゆ』を創刊すると、雑誌編集、イラストレーション、ファッション、インテリアなど、多くの領域を横断するマルチクリエイターと呼ぶべき多彩な仕事を手がけました。終戦直後、見えない未来に光を灯すような思いで手がけた雑誌制作をはじめとする仕事の数々は、女性たちの圧倒的な支持を得、また後の時代のクリエイターにも大きな影響を与えています。

中原の生誕111周年を記念する本展では、『それいゆ』、『ひまわり』、『ジュニアそれいゆ』など、雑誌での編集の仕事を軸にその幅広いクリエイションの全貌を紹介します。戦後の混沌とした時代に「暮らし」という視点からさまざまな提案を行った中原の仕事は、先を見通すことが難しい現在においても、私たちに多くの気づきを与えるはずです。

ほんとうの
美しさとは、



中原淳一 JUNICHI NAKAHARA

- 1913年 香川県生まれ
- 1926年 上京
- 1930年 上野広小路の高級洋品店のデザイナーに抜擢される
- 1932年 創作人形の個展開催
- 1935年 『少女の友』の表紙絵を描く（以降1940年まで66回表紙絵を担当）
- 1939年 ヒマワリ社の前身となる洋飾雑貨と洋装の店「ヒマワリ」を開店
- 1946年 女性誌『それいゆ』を創刊
- 1947年 月刊誌『ひまわり』を創刊
- 1954年 『ジュニアそれいゆ』を創刊
- 1970年 『女の部屋』を創刊
- 1975年 『中原淳一画集』を刊行

中原淳一



原絵原画『中原淳一ブラウス集』 1955年 個人蔵 © JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

企画展

111年目の

2024年4月20日(土)ー6月17日(月) 島根県立石見美術館

[開館時間] 9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで) [休館日] 毎週火曜日

[観覧料] 当日券／一般:1000(800)円、企画・コレクション展セット 1150(920)円

大学生:600(450)円、企画・コレクション展セット 700(530)円

小中高生:300(250)円、企画・コレクション展セット 300(250)円

前売券／企画・コレクション展セット 900円

※()内は20名以上の団体料金 ※小中高生の学校利用は入場無料

※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者(1名まで)は入場無料

※前売券は、ローソン各店(Lコード:63978)、グラントワ総合案内カウンターで(開幕前日まで)お求めになれます。

島根県芸術文化センター「グラントワ」内

[主催] 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、朝日新聞社、日本海テレビ
[後援] 芸術文化とふれあう協議会 [協力・監修] ひまわりや

特設サイトはこちら



グラントワ
Grand Toit

111年目の 中原淳一

新しい少女のために

戦前に発行されていた雑誌『少女の友』で中原の画家としての活躍が始まりました。西洋的で、大きな瞳と細長い手足をもった中原の「新しい少女」像は、現代のアイドルのように熱狂的に支持されました。そのエッセンスは後の少女漫画にも大きな影響を与えています。



「ファッションブック」
『少女の友』第30巻第8号付録）
1937年

平和な時代の
少女のために

戦争によって少女時代を奪われた女性たちのため、中原は1947年に雑誌『ひまわり』を創刊します。「よき女性の人生は、よき少女時代を送った人に与えられるものではないか」と情熱をもって作られた雑誌が、新しい時代の少女たちに夢を与えていきました。



表紙原画（『ジュニアそれいゆ』第6号） 1955年



屋根裏部屋の少女
（『ひまわり』第5巻第9号原画）
1951年



『少女の友』第31巻第3号 1938年

ほんとうの
美しさとは、

豊かさとは、

何なのか！。



ひまわり社商品
紙袋
1957年



「ひまわり 夏休み手帖」
（『ひまわり』第4巻第8号付録）
1950年



「ふたりはこんな部屋に住む」『それいゆ』第14号原画） 1950年



SOLEIL PATTERN
（『それいゆ』第25号口絵原画） 1953年



表紙原画（『それいゆ』第37号） 1956年

2

美しい暮らしのために

ファッション、美容からインテリア、手芸、文学、音楽、美術に至るまで――。中原は「ほんとうの意味で美しい暮らしを知る本を作りたい」と、多様なコンテンツを雑誌『それいゆ』に盛り込みました。表紙画やスタイル画、斬新なページレイアウト、そして中原の言葉に、揺るぎない美意識をみることができます。



みどり
木綿の裕のスカート
1955年



ゆかた「リボン」 1958年

4



人形 1967年



「手藝の本」『少女の友』第30巻第3号付録）
1937年

中原淳一の原点と人形制作

■関連プログラム

オープニングギャラリートーク

本展監修者である中原利加子さんをお招きし、作品の魅力についてお話いただきます。

講師：中原利加子（株式会社 ひまわりや 代表取締役）

日時：4月20日（土）14:00～15:00 会場：展示室D 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

グラントワ・マルシェ 2024

「工夫して作る楽しさ」を提案し続けた中原淳一にちなんだハンドメイドの小物づくりや、館内を巡って「111」を探すスタンプラリーなど、楽しいイベントが盛りだくさん。美味しい食べ物も大集合します♪

日時：5月3日（金・祝）10:00～15:00 ※小雨決行

会場：「グラントワ」中庭広場ほか 入場無料／飲食・物販等は有料

スペシャルトーク

中原淳一のクリエイションから影響を受けたというマツオヒロミさんに、その魅力について語っていただきます。

講師：マツオヒロミ（イラストレーター・島根県出身）

日時：5月18日（土）14:00～15:00 会場：講義室 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

MUSEUM×THEATER vol.22

中原淳一が活躍した時代に思いをはせる音楽プログラムを開催します。

出演：かとうかなこ（クロマチック・アコーディオン）、岡崎泰正（ギター）、SiMA（ヒューマンビートボックス）

日程：6月2日（日） 会場：「グラントワ」大ホール ステージ上

料金：前売 1,000円／当日 1,500円

※詳細は当館ホームページをご確認ください

ギャラリートーク（学芸員による作品解説）

日時：4月21日（日）、5月4日（土）、6月15日（土）14:00～15:00

会場：展示室D 参加無料 ※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

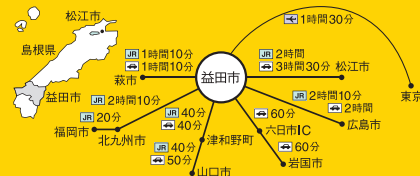
グラントワteaガーデン「フルーツポンチ」

中原編集の雑誌『ひまわり』掲載の「フルーツポンチ」のレシピをもとにした、冷たい飲みものをふるまいます。

日時：5月19日（日）10:30～ 会場：美術館ロビー 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

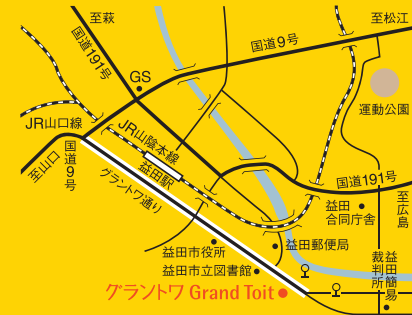
家族みんなで展覧会を楽しもう！
子どもWeek! 4月27日（土）～5月12日（日）
上記の期間、小・中学生は観覧無料。※年齢の確認できるものを持参ください



■次回企画展

「堀内誠一 絵の世界」

7月6日（土）～9月2日（月）



●交通案内

石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分／JR益田駅から徒歩15分／JR新山口駅から益田駅まで特急約90分／萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分／浜田自動車道浜田ICから自動車約50分 ◎駐車場あります（約240台・無料）※土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。

島根県立石見美術館

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内

TEL:0856-31-1860(代表) FAX:0856-31-1884(代表)

E-mail: grandtoit@cul-shimane.jp https://www.grandtoit.jp